



# 二色小だより



No. 08

2012年10月1日

## 服を脱ぐとまるでおもりはずしたようでした!

9月7日(金)二色小学校では、久々の着衣水泳に取り組むことができました。以前実施したことはあったのですが、プールの水質管理の都合上なかなか実施できませんでした。今年度は、最終日に5,6年生対象で行いました。



### ○●児童の感想●○

★下がジャージで、上が体操服でその中に水着を着て、体育館シューズをはいて水に入りました。バタ足をする時に、すごく重かったのでびっくりしました。そして全身はいると、重すぎてうくことがむずかしかったです。次にビート板でうきました。ほんらいはペットボトルでした。ビート板もバランスを取りにくかったので、ペットボトルはもっとむずかしいと思いました。

★今日、体操服をきて水につかってみました。服をきてつかってみると、重たくてうかぶことができませんでした。

私は、もし服をきたまま海に落ちたりしたら、すごくあぶないことが分かりました。海とかではふざけないようにします。

★体操服を着ながらはいると、とてもまとわりついて

きて、とてもおもかったです。ちょっと泳ぎにくかったです。家に帰るとお母さんが、「体験できてよかったね。」といて、私はとてもよかったと思いました。

★ふかい川などでおぼれたときのために訓練をして私はビックリしました。とくにビックリしたところは、服やくつをはいたまま水に入る感かくです。うごきにくくてとてもびっくりしました。私もおぼれないように注意したいです。たすけるときに、とびこんではいけないとわかりました。

川や海に服を着たまま転落しておぼれると、手を挙げて叫びがちですが、子どもたちの感想にあるとおり服がまとわりついて動きにくいので、かえって水に沈みやすくなり、泳ぐと体力を消耗してしまいます。

だから、学校では服や靴の浮力を利用してあおむけに浮き、助けを待つよう指導しています。

東日本大震災の津波でおぼれかけた人の中には、この教えを守り助かった人たちもいました。体育館に高さ三メートル近い津波が押し寄せたとき、とっさに学校で開いた着衣泳の講習会を思い出し、体の力を抜いたそうです。するとコートや運動靴の浮力で体が浮き、二階にいた人に引き上げられたそうです。同じように助かった子どもたちもいたそうです。

## 雷が鳴ったら建物や車の中に避難する!

大阪市の長居公園。野外ライブが行われていましたが、会場近くの公園の木に落雷。近くにいた会社員2人が死亡、8人がケガをしました。カミナリで一番おそろしいのは落雷の直撃、側撃を受けてのショック死です。

### ○家のなかにいるとき

家のなかにいるときはテレビなどの電気機器から1m以上離れて部屋の真ん中にいます。

### ○そとにいるとき

グラウンドなど広い場所にいることは極力避け、建物があれば建物のなかに避難します。建物がないときは、傘は捨てて、しゃがみこんで小さくなります。建物の軒先や木の下で雨やどりするのはとても危険です。

○高い木や鉄塔などに近づいてはいけません。

## 二色ふれあいフェスタ

【月 日】 10月14日 (日)

### 【時 程】

- 10:00～ 準備
- 12:00 開門
- 12:30 コーナー、バザー開始
- 15:00 終了、あとかたづけ
- 15:30 児童最終下校



※詳細については後日配布の便りをご覧ください。ボランティアの子どもたちが活躍しますので、たくさんの参加よろしくお願いします。

※ボランティア追加申し込みも受け付けています。ご家庭でも励ましてください。

# 行事予定

- 1 月 ひまわり号
- 2 火 避難訓練
- 3 水 青パト見守り活動
- 4 木 委員会
- 5 金 諸費引落
- 8 月 体育の日
- 9 火 ⑤社会見学予備日
- 11 木 クラブ
- 10 水 ③交通安全教室
- 11 木 クラブ
- 12 金 ③みつば、ハート交流館見学
- 14 日 二色フェスタ
- 17 水 おもちゃ王国
- 18 木 クラブ
- 24 水 PTC④ 曜日変更金曜6時間
- 25 木 26 金 ⑥修学旅行
- 26 金 曜日変更水曜5時間
- 30 火 ⑥ニッセイ名作劇場
- 31 水 研究授業④

4の2のみ  
2:30下校

- 1 1 月
- 2 (金)③郊外学習 予備日 1 6 (金) 7 (水) 音楽会
- 9 (金)連合音楽会 8 (木) 就学時健診
- 1 2 (月)②校外学習 予備日 3 0 (金)
- 2 1 (水)①校外学習 予備日 2 9 (木)
- 1 2/1 (土)学校をきれいにしよう

# 落ちてしまったら背浮き！ 助けに飛び込んではいけない！

川や池に落ちた！  
～背浮きを覚えよう～

川や池にあやまって落ちてしまったときや海や川でおぼれかけたとき、あわててバタバタしてしまうと体力はどんどん奪われていきます。無理して泳ごうとせず次のように助けを待ちます。



○服は着たまま！靴は履いたまま！

服は着ていたほうが体との間に空気が溜まって浮きやすくなります。運動靴はそれ自体が浮力を持ちます。

○背浮きをする

空のほうを向いてリラックスしてプカプカと水に浮きます。両腕は大の字くらいでやりやすいように開きます。

○静かに助けを待つ

手を振ったり大声を出すとバランスをくずして沈んでしまうので静かに助けを待ちます。

※服を着たまま背浮きをしている人は助けを求めていると判断してください。

きょうだいや友だちがおぼれた！  
～飛び込んではいけない～

いっしょに遊んでいたきょうだいや友だちがおぼれても、飛び込んで助けようとしてはいけません。子どもが泳いで行ってもおぼれている子どもを助けることはできません。



○大人に助けを求める

大きな声で周りのできるだけ多くの大人に助けを求めます。

○背浮きをさせる

おぼれている子にあわてないで背浮きをするように伝えます。

○つかまるものを差し出す

自分が引き込まれないように岸に腹ばいになって棒きれやベルト、結んでつないだ服などを差し出して引っ張り上げます。

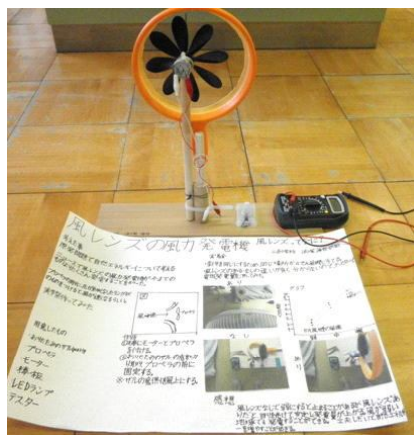
○浮くものを投げ入れる

ペットボトルやカバンなどの浮くものを近くに投げ入れて背浮きがしやすいようにしてあげます。

ハンガーのスチロールカッター  
1年生 伊藤 美織



風レンズの風力発電機  
6年 濱塚 海也  
科学作品展工作採集部門銅賞



## 貝塚市科学作品展

9月14日(水)から21日(水)まで自然遊学館で貝塚市科学作品展が開催されました。市内の小学校から150点の出品があり、その中から入賞した作品のみ展示されました。

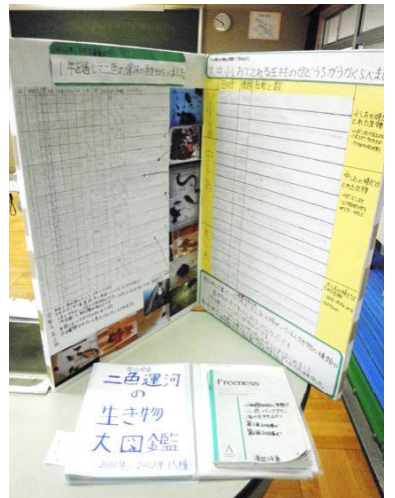
二色小学校からも、学校審査会で選考された15作品を出品したところ、金賞に1名、銅賞に1名が入賞し展示されました。

また、金賞を受賞した4年生以上の作品は、大阪府学生科学賞の応募作品として府の教育センターに展示されます。

校内の作品の一部ですが紹介させていただきます。

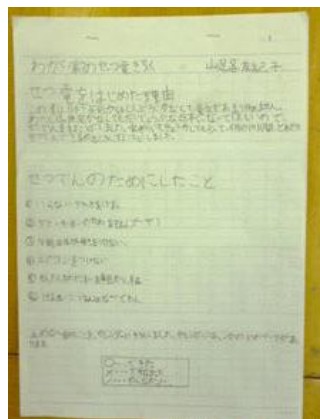
5年 渡辺 怜真  
1年を通しての

二色の運河の魚調べ  
科学作品展研究記録部門金賞



## 夏休みの自由研究紹介

わが家のせつ電きろく  
3年 山路友紀子



ゴムカー

2年生 田中 麻比呂

5年 辻侑  
重さで動くビー玉迷路



大人の皆さんへ ～大人も飛び込んではいけない～

おぼれている子どもを助けるのに大人の皆さんも泳いで助けに行くことは極力避けなければなりません。自分が泳いでいって助けるのは相当な泳力と体力と技術を持っていても難しいのです。できるかぎり水に入らずに救助する方法をさがします。

○ 119番通報する

なによりもまず119番通報して消防機関に救助を要請します。

○ ひとりで助けようとするしない

ひとりだけで助けようとするのはとても危険です。できるだけ複数で協力します。

○ 道具を使う

棒、木の枝、ロープ、身につけている服・ズボン・ベルト、肩かけかばんなどのつかまる物、ペットボトル、クーラーボックス、ランドセル、膨らませたスーパーの袋などの浮く物、そばにある物を活用します。

●どうしても泳いで救助に向かう状況のときは●

○ いきなり飛び込まない

泳ぎの妨げとなる服は脱ぎ、浮く物やつかませる物があれば持ち、頭を打たないように足から飛び込みます。

○ おぼれている人にいきなり近づかない

おぼれている人は救助する人に必死に抱きついてくるため非常に危険です。近くまで行ったら「抱きつくな！」と言って、先に浮く物やつかまる物を投げて落ち着かせます。抱きつかれたら水中に潜って振りほどき、後方に回り込んで後方から抱きかかえるようにします。

○ 背浮きをさせて運ぶ

おぼれている人に背浮きをさせ、アゴを持つか髪の毛をつかむか、胸の部分を片手で抱え、水の流れに逆らわずに徐々に岸に近づきます。

○ 応急手当

岸に引き上げた後、意識がなく呼吸もなければ心肺蘇生（人工呼吸・心臓マッサージ）を救急隊に引き継ぐまでおこないます。

#### 14. 落雷から身を守るには

落雷による日本での死傷者は、10年間の平均で15.1人。(1998～2007年データ、警察白書より)死者行方不明者は、年平均2.9人。(同じ10年間。年により、1人～6人の犠牲者)

安全な場所は、鉄筋コンクリート建築物・戸建て住宅などの本格的木造建築物です。

雨宿りの軒先は安全か？

軒先は雨がかからないため、安全と過信しがちだが、雨宿りの建物に落ちたときには、(電流)は、物体の中を流れるとき、表面の方を多く流れ、中心部を流れる電流は少なくなるという表皮効果があり、このために軒先や柱の側は危険です。雨宿りにならないかも知れませんが、少なくとも建物から一メートルは離れてください。

雨宿りの高い木は安全か？

高い木の下での雨宿りは危険です。上記と同じ理由です。少なくとも2メートルは、離れてください。

車や電車は安全か？

これは安全です。何回か実験を見ましたが、車の上から側面を雷の電流が流れ地面に吸収されるのをみました。

高く尖がっているものに落雷は落ちやすい？

正しい。避雷針は建物の屋上に設け、しかも更に上に高く伸びています。雷を建物ではなく、避雷針に誘導するための方法です。

身につけている金属には落ちやすい？

金属が体から出っ張っていない限り安全だそうですが、だいぶ

古い話ですが、私の故郷のゴルフ場でゴルファーのズボンのチャックの金の部分に落雷を受けて、なくなった人がいました。まったく安全というわけではありません。

また、手に持っていたゴルフの道具や魚釣りの釣竿、傘など、雷雨時には落雷の危険性があります。雷雨の時には出歩かないのが一番です。

落雷を避けるために地面に伏せるのは安全？

直接の落雷からは安全な策です。しかし近くに落ちた場合は、危険になる事もあります。

ゴム長靴などの絶縁を身につけていれば安全？

ゴム合羽やゴム長靴を身につけていても、落雷は避けられません。実験でたしかめられています。

高い建物は、一番高い所に落雷する？

そうとも限りません。30mを超えると建物の側面にも落ちることがあります。

「ゴロゴロと鳴ったら、このような場所（グラウンド）にいることは極力避ける。傘は捨てて、しゃがみこんで小さくなって下さい」

頭を抱えて姿勢を低くすることで、落雷にあう危険性を下げようというものです。

そして、木の下での雨宿りは絶対に避けるべきだと警告します。

<大阪大学 河崎善一郎教授>

「ずっと電気が流れてきて、ぴゅっと飛びますからね。『側撃』って言いますけど」

木の側に人形を立てて、雷を落とした時の実験です。

電気は、木の表面を流れていくのがわかります。

これが「側撃」というものです。

長居公園で死亡した2人は近くに逃げ込む建物がなく、木の下で雨宿りをしていたとみられています。